



一生懸命 In 一期一会

《学校教育目標》

「志を持ち 道を拓く生徒」

6. 10 (水)

文責：担当 川崎幸司

引き渡し訓練へのご協力を、 ありがとうございました

生徒の避難訓練及び保護者による引き取り訓練が6月8日(月)に行われました。今年度は白根御勅使一貫校3校と校区内百田保育園・みだい幼稚園・白根保育所も参加協力して行うことができました。ご協力のおかげで、スムーズに引き取りができたことを感謝いたします。

起きては困りますが、本当の有事の際には、車が使えず、遠方からでも歩いて迎えにきていただかなければなりません。危険なところを通って避難しなければならないかもしれません。お互い、日頃から備えと心構えをしておきたいものです。

中間テストを終えて

～振り返りを力に変え、期末テストへ向かおう～

新学期最初の関門である中間テストが終了いたしました。生徒の皆さんは、日頃の学習の成果を十分に発揮できたでしょうか。テストに向けた準備期間中の机に向かったその努力やプロセスは、結果に関わらず皆さん一人ひとりの確かな経験値となっています。

結果が返却され、嬉しさに笑顔を見せる人、思うような点数が取れずに肩を落としている人と、受け止め方は様々だと思います。しかし、定期テストで最も大切なのは、**点数に一喜一憂することではなく、「終わった後にどう動くか」**です。テスト用紙は、今の自分の弱点や「伸びしろ」を教えてくれる貴重な道標です。ここでしっかりと自分自身の学習を振り返り、次へのステップへと繋げていきましょう。

1. まずは中間テストの「健康診断」をしよう

間違えてしまった問題には、必ず理由があります。まずはテスト用紙を見直して、次の3つのうちどれに当てはまるか確認してみましょう。

※うっかりミス(ケアレスミス)：

問題の読み違い、計算違い、漢字の書き損じなど。実力はあるものの、見直しの時間配分や、試験中の集中力に課題があります。



※知識の不足：

単語や公式、重要語句を覚えていなかった場合です。テスト直前の詰め込み学習になってしまい、繰り返し復習する回数が足りなかった可能性があります。

※理解の不足：

授業の内容や、問題の意図そのものが分かっていなかった場合です。この場合は、そのままにせず、すぐに先生や友人に質問して疑問を解消しておくことが大切です。

2. 期末テストは「ボリュームも難度もアップ」

中間テストが終わったばかりですが、次なる「期末テスト」へのカウントダウンは始まっています。実技4教科が増える期末テストは、年度始めの中間テストに比べて負担が大きく増えることを、あらかじめ知っておく必要があります。

教科数の多さと範囲の広さを考えると、「テストの2週間前から始めればいいや」というこれまでのスケジュールでは、時間が足りなくなってしまうのが現実です。

3. 期末テストで笑顔を迎えるための「三つの約束」

限られた時間の中でしっかりと成果を出すために、今日からの生活の中で次の「三つの約束」を意識してみませんか。

【約束一】毎日の授業を「テスト対策」にする

範囲の広い期末テストでは、テスト期間に入ってから一から復習し直す時間は不十分です。「その日の授業で習ったことは、その日のうちに理解する」という毎日の積み重ねが、一番の近道になります。

【約束二】ワークなどの提出物は「その日のうちに」進める

テスト直前に提出物に追われ、ただ解答を書き写すだけの作業になってしまっただけは意味がありません。授業が進んだ分だけ、その日のうちにワークを解く習慣をつけましょう。テスト1週間前には、すでに一通り終わっている状態が理想です。

【約束三】実技4教科も計画的に進める

5教科に気を取られ、実技教科の対策を後回しにすることは、通信票の成績(ひいては高校入試の調査書)の観点からも避けたいところです。5教科の勉強の合間に、実技教科の暗記モノを眺めるなど、隙間時間を上手に活用しましょう。

*「もっと早くから勉強を始めておけばよかった」と思った生徒へ：過ぎてしまった時間は変えられませんが、今からの行動次第で、未来の結果はいくらでも変えることができます。中間テストが上手くいった人はその調子を維持し、悔しい思いをした人はここからの巻き返しを大いに期待しています。期末テストの日に「やりきった!」と胸を張って笑顔になれるよう、今日からまた一歩ずつ進んでいきましょう。